

研究発表者へのご案内

- ※ 本大会では発表証明書を発表終了時に発行致します。
- ※ 優れた一般発表に対し、発表賞（最優秀発表賞、優秀発表賞）を授与します。すべての一般発表（ポスター・口頭）を選考対象とし、選考は、日本スポーツ心理学会発表賞選考委員会が行います。受賞者には、後日、電子版賞状を E メールでお送りします。
- ※ 新型コロナウイルスへの感染もしくは濃厚接触の指定などにより、発表者がご来場いただけない場合、原則として、共同発表者による代理の発表をお願いいたします。その際は、事前に、大会事務局までご一報ください（conf@jssp.jp）。
- ※ 代理発表が困難な場合の対応については、大会ホームページなどでご案内いたします。

シンポジウム・RTD・一般発表（口頭発表）の演者の皆様へ

1. 発表およびスライド作成に関して（機材、ソフトウェアなど）
 - ・ 各会場にはパソコンとプロジェクターを1台ずつ用意致します。パソコンの OS は Windows10 で、Office 365 がインストールされています。最新版の PowerPoint を利用することができます。
 - ・ プロジェクターの端子は HDMI です。各会場の備付のパソコンを使用する場合、発表受付時に、発表スライドのファイルを備付のパソコンに入れてください。Mac をご利用の場合は、変換コネクタを含めご自身でご用意ください。
2. 配布資料を利用される場合
 - ・ 大会本部では、配布資料の印刷をお引き受けすることはできません。配布資料をご利用の場合は、当日の必要部数をご持参頂きますようお願い致します。
3. 発表受付
 - ・ 一般発表（口頭発表）の演者は、10月1日（土）9時15分までに発表会場にて発表受付をお済ませ下さい。また一般発表（口頭発表）の演者は、前の演題の発表開始時に、次演者席にご着席ください。
4. 発表時間（一般発表（口頭発表））
 - ・ 口頭発表は1演題につき25分（発表時間15分、質疑応答10分）です。

- 1 3分経過・・・1回目 ♪
- 1 5分経過・・・2回目 ♪ ♪
- 2 5分経過・・・3回目 ♪ ♪ ♪ (質疑応答打ち切り) ♪：ベル音

一般発表（ポスター発表）の発表者の皆様へ

1. ポスターの作成

- ・ 掲示パネルは、縦210cm×横120cm（縦長）の寸法です。
- ・ ポスター上部に、演題名、発表者名、共同研究者名、所属をご明示ください。

2. 発表受付

- ・ ポスターセッションの開始10分前までに、ポスター発表会場内の受付にて発表受付をお済ませください。

3. 発表

- ・ ポスター発表には、2つのセッションがあります
 ポスター発表A：10月2日（日） 9時00分～10時30分
 ポスター発表B： 同 日 10時30分～12時00分
 どちらのセッションで発表されるか事前に必ずご確認ください。
- ・ ポスター掲示可能時間、責任着座時間は下の通りです。お早めに掲示してください。

ポスター発表A：10月2日（日）

| | 掲示可能時間 | 責任着座時間 |
|----------------------|--------|--------------|
| 演題番号PA- <u>奇数</u> 番号 | 8時30分～ | 9時00分～ 9時45分 |
| 演題番号PA- <u>偶数</u> 番号 | 8時30分～ | 9時45分～10時30分 |

ポスター発表B：10月2日（日）

| | 掲示可能時間 | 責任着座時間 |
|----------------------|--------|---------------|
| 演題番号PB- <u>奇数</u> 番号 | 8時30分～ | 10時30分～11時15分 |
| 演題番号PB- <u>偶数</u> 番号 | 8時30分～ | 11時15分～12時00分 |

- ・ 各パネル上部に演題番号が表示されておりますので、当該パネルをご使用ください。
- ・ ポスターセッションでの発表が終了しましたら、速やかにポスターの撤収をお願い致します。12時30分を過ぎてパネルに残っているポスターは、大会事務局にて廃棄いたしますので、予めご了承ください。

10月1日(土)

口頭発表 A

10月1日(土) 9時30分～12時00分

会場：4F 国際会議室

OA-Iセッション(9時30分～11時00分)

座長：國部雅大(筑波大学)

OA1

子どもにおける運動伝染の発達的变化

向井香瑛 (日本学術振興会/早稲田大学)

女川亮司 (日本学術振興会/早稲田大学)

渡邊克巳 (早稲田大学・非会員)

OA2

深層強化学習を用いた最適な協調行動および
その基盤となる認知・意思決定機構の探究

筒井和詩 (名古屋大学)

武田一哉 (名古屋大学・非会員)

OA3

ネット型スポーツにおける対人運動技能-規則
性と不規則性のはざま-

山本裕二 (名古屋大学)

横山慶子 (名古屋大学)

奥村基生 (東京学芸大学)

木島章文 (山梨大学)

郷原一寿 (北海道大学・非会員)

OA-IIセッション(11時00分～12時00分)

座長：横山慶子(名古屋大学)

OA4

対人捕捉課題時に生じる時間的協調-聴覚刺
激提示条件との比較-

杉山真人 (神戸親和女子大学)

OA5

一致タイミング課題における複数の事前分布の
学習-随伴運動を利用した速やかな事前分布
の学び分け-

夏目 柊 (静岡大学大学院)

James Heron (ブラッドフォード大学・非会員)

Neil W. Roach (ノッティンガム大学・非会員)

宮崎 真 (静岡大学)

10月1日(土)

口頭発表B

10月1日(土) 9時30分～12時30分

会場：3F 301AB

OB-Iセッション(9時30分～11時00分)

座長：奥野真由(久留米大学)

OB1

アーチェリー選手の心理的要因がパフォーマンスに及ぼす影響-テキストマイニングによる思考過程の分析-

中野 遥 (東洋大学大学院)
加藤千恵 (東洋大学)
青木滉一郎 (東洋大学)

OB2

アスリートの競技場面における認知的方略の特徴の検討-競技場面の状況に着目して-

川村亮太 (大阪体育大学大学院)
菅生貴之 (大阪体育大学)

OB3

認知行動療法を用いた審判員に対する抗議減少のための介入-大学生サッカー競技者を対象に-

榎本恭介 (法政大学大学院)
荒井弘和 (法政大学)

OB-IIセッション(11時00分～12時30分)

座長：秋葉茂季(国土舘大学)

OB4

負傷競技者の情動調整とスポーツ傷害受容との関連及びその性差

辰巳智則 (畿央大学)

OB5

アスリートの制御焦点とバーンアウトの関連

清水登大 (筑波大学大学院)
外山美樹 (筑波大学)

OB6

体育・スポーツにおける自己形成の過程-競技者の“できない体験”に着目して-

今村衣津季 (札幌市立北野台中学校)
小谷克彦 (北海道教育大学旭川校)

10月1日(土)

口頭発表C

10月1日(土) 9時30分～12時30分

会場：3F 302AB

OC-Iセッション(9時30分～11時00分)

座長：上野耕平(香川大学)

OC1

大学生アスリートのライフスキルと基本的心理欲求の
関連—BNT/LDI ライフスキルモデルの視点から—

山田弥生子(大阪体育大学大学院/
日本体育大学)
土屋裕睦(大阪体育大学)

OC2

問題解決型ミーティングによる非認知的スキルの
変容—U12年代サッカー選手を対象とした事例
研究—

堀野博幸(早稲田大学)

OC3

どのような批判的思考態度が被体罰経験者の体罰
容認的態度を抑止するか？

久保昂大(九州栄養福祉大学/
九州大学大学院)
内田若希(九州大学)
杉山佳生(九州大学)

OC-IIセッション(11時00分～12時30分)

座長：中川裕美(東北福祉大学)

OC4

Sport Motivation Scale-II(日本語版)の妥当
性と信頼性の検討—その2—

川端雅人(Nanyang Technological
University)

OC5

若年層のスポーツを「ささえる」活動におけるスポーツ
コミットメントモデルの検証

元嶋菜美香(九州産業大学)
相羽枝莉子(長崎国際大学)
杉山佳生(九州大学)

OC6

中学校体育教員と生徒のほめ認知のズレ要因の
検討—中学校体育授業を対象として—

杉山卓也(静岡大学)

10月1日(土)

口頭発表D

10月1日(土) 9時30分～12時00分

会場：2F 201AB

OD-Iセッション(9時30分～11時00分)

座長：正木宏明(早稲田大学)

OD1

自転車競技ペダリング動作におけるアングリングを
知覚させる要因

藤巻拓斗 (鹿屋体育大学大学院)
中本浩揮 (鹿屋体育大学)
村田宗紀 (鹿屋体育大学・非会員)

OD2

身体動作および情動の self-control における
ego depletion の発生に関する基礎研究—空
気圧人工筋の駆動による動作介入を用いて—

来間千晶 (広島大学)
栗田雄一 (広島大学・非会員)

OD3

熟練フリースタイルスノーボーダーの試技前心理
生理状態と試技中動作、競技成績の関係

松村聖司 (NTTコミュニケーション科学基礎
研究所)
渡辺 謙 (NTTコミュニケーション科学基礎
研究所/早稲田大学・非会員)
西條直樹 (NTTコミュニケーション科学基礎
研究所・非会員)
柏野牧夫 (NTTコミュニケーション科学基礎
研究所・非会員)

OD-IIセッション(11時00分～12時00分)

座長：田中美史(武庫川女子大学)

OD4

ボールの記憶イメージが小さいほど出塁率が高い
—記憶しているボールの大きさと打撃成績の
関係—

桐山良太 (名古屋大学大学院)
川合伸幸 (名古屋大学/中部大学・
非会員)

OD5

“ストレート”は、野球選手にだけ“まっすぐ”に
見える—ボール軌道の水平変化に対する知覚
バイアス—

那須大毅 (NTTコミュニケーション科学基礎
研究所)
木村聡貴 (NTTコミュニケーション科学基礎
研究所・非会員)
柏野牧夫 (NTTコミュニケーション科学基礎
研究所・非会員)

10月2日(日)
ポスター発表A

10月2日(日) 9時00分～10時30分

会場：2F メインホール

PA1

大学野球投手の心理アセスメントから心理サポートを考えるー質問紙法・作業検査法による心理的特性の検討からー

青木滉一郎 (東洋大学)
加藤千恵子 (東洋大学)
東山明子 (大阪商業大学)

PA2

右空間・左空間の認知における右脳の優位性ーなぜ右脳は重要なのかー

小谷泰則 (東京工業大学)

PA3

スポーツ指導場面における対人暴力は心的外傷性ストレス症状を予測するのか

豊田 隼 (山梨大学大学院)

PA4

日本サッカー育成代選手の競技力に関する研究ーJリーグトップレベル U-18 年代に着目してー

松山博明 (追手門学院大学)

PA5

全国大会出場経験のあるアスリートほどメンタルトレーニングを行っていない

佐藤優希 (法政大学/
M.Y. Shuttle HAUS)
町田和梨 (法政大学大学院)
荒井弘和 (法政大学)

PA6

アスリートのスポーツ傷害発生要因とパーソナリティ・情動知能の関係

岡田 誠 (松阪市民病院/
法政大学大学院)
中澤 史 (法政大学)

PA7

野球の外野手における二者間での捕球判断に係る選手間の位置関係および声かけの検討

菊政俊平 (金沢学院大学)
國部雅大 (筑波大学)

10月2日(日)
ポスター発表A

10月2日(日) 9時00分～10時30分

会場：2F メインホール

PA8

レジリエンスと自我状態の関係

中澤 史 (法政大学)
岡田 誠 (松阪市民病院/
法政大学大学院)

PA9

身体活動に対する動機づけ要因に関する研究
—トピックモデル分析—

堀井大輔 (大阪電気通信大学)
金田啓稔 (大阪電気通信大学)
杉山佳生 (九州大学)

PA10

バーンアウトの発症プロセスに及ぼすコーピングの
機能—大学生スポーツ選手を対象として—

田中輝海 (駿河台大学)

PA11

日本語版スポーツコミットメント尺度2の作成

折茂紗英 (日本体育大学大学院)
高井秀明 (日本体育大学)

PA12

心理的安全性が大学生アスリートに及ぼす影響
についての探索的検討—競技不安・バーンア
ウト・心理的競技能力との関連—

上田 寛 (広島大学大学院)
朝倉智大 (関西学院大学大学院・非会員)
大前杏織 (関西学院大学大学院・非会員)
佐藤 寛 (関西学院大学)
中島健一郎 (広島大学大学院・非会員)

PA13

大学テニス選手におけるスポーツ傷害の発生状
況の検討—心因的因子に着目して—

田島勇人 (日本大学大学院)
和田太一 (日本大学大学院・非会員)
高橋正則 (日本大学)

PA14

球技選手および陸上競技選手の眼位に関する
検討—斜位の種類と強度による分類—

小松佳弘 (筑波大学大学院)
阿南俊之介 (筑波大学大学院)
小嶋 岳 (筑波大学大学院)
國部雅大 (筑波大学)

10月2日(日)
ポスター発表A

10月2日(日) 9時00分～10時30分

会場：2F メインホール

PA15

練習中における指導者の声かけがジュニア選手に及ぼす心理的影響—女子バスケットボール選手を対象として—

堀家弥姫 (川崎医療福祉大学大学院)
門利知美 (川崎医療福祉大学)
田島 誠 (川崎医療福祉大学)

PA16

他者の存在が速さと正確さの両方を求められる運動課題のパフォーマンスに及ぼす影響

兄井 彰 (福岡教育大学)

PA17

簡易脳波計による注意集中を高めるプログラムの検討

高井秀明 (日本体育大学)
岩崎宏次 (日本体育大学)
戸松陽平 (日本体育大学)

PA18

空手のフェイントにおける注意の捕捉—先行手がかり課題による検討—

坂部崇政 (日本体育大学)
高井秀明 (日本体育大学)

PA19

大学生競技者における達成志向性とライバル観

佐々木史之 (環太平洋大学)
長田理子 (広島大学大学院)
周藤玲奈 (広島大学大学院)
関矢寛史 (広島大学)

PA20

タイムプレッシャーの強度と反応時間および正答率との関係—タスクスイッチング課題からの検討—

大久保瞳 (日本体育大学)
高井秀明 (日本体育大学)

PA21

エフォートフル・コントロール特性が思考抑制による逆説的効果に及ぼす影響—アーチェリー選手を対象として—

戸松陽平 (日本体育大学)
高井秀明 (日本体育大学)

10月2日(日)
ポスター発表A

10月2日(日) 9時00分～10時30分

会場：2F メインホール

PA22

ハンドボールは試合中の「流れ」をどのように捉えるのか—大学生女子トップ選手に対するインタビュー調査—

大西壮流 (大阪体育大学大学院)
三石祐馬 (大阪体育大学大学院)
田中 良 (大阪体育大学・非会員)
土屋裕睦 (大阪体育大学)

PA23

自転車による直線狭路走行の安定性向上に伴う眼球運動の変化

小嶋 岳 (筑波大学大学院)
阿南俊之介 (筑波大学大学院)
小松佳弘 (筑波大学大学院)
國部雅大 (筑波大学)

PA24

頭部回転を用いたボールトラップの技能学習が音源定位の正確性に与える影響

三枝 巧 (山形大学)
國部雅大 (筑波大学)

PA25

行動分析的コーチングが水球のシュートフォーム改善とシュート成功に及ぼす効果

平田大智 (関西学院大学大学院)
三代優芽 (関西学院大学・非会員)
米山直樹 (関西学院大学・非会員)

PA26

アスリートにおける身体への意識が反芻および省察に及ぼす影響—対処方略を媒介変数とした検討—

堀 彩夏 (日本体育大学)
高井秀明 (日本体育大学)
齋藤雅英 (日本体育大学)

PA27

トップアスリートに必要な心理的能力を向上させる方略の検討—日本代表指導者へのインタビュー調査を通して—

宇土昌志 (宮崎大学)
村上貴聡 (東京理科大学)
平木貴子 (日本大学)
荒井弘和 (法政大学)
立谷泰久 (国立スポーツ科学センター)

10月2日(日)
ポスター発表A

10月2日(日) 9時00分～10時30分

会場：2F メインホール

PA28

育成年代サッカー指導者の認識的信念の分析—
選手の独自性育成に着目して—

永山貴洋 (石巻専修大学)

PA29

大学野球投手のプレッシャー局面における心理状態
の変動と投球パフォーマンスの低下—トラッキングシ
ステムを用いたモニタリング—

夏見謙人 (筑波大学大学院)

坂入洋右 (筑波大学)

PA30

大学ラグビー選手の試合期を経た心理的競技能力
の変化について—オートテリックパーソナリティに着目
して—

村中 龍 (日本大学大学院)

高橋正則 (日本大学)

PA31

現代の大学生アスリートはどのような価値を持って
いるのか

荒井弘和 (法政大学)

深町花子 (日本スポーツ協会)

榎本恭介 (法政大学大学院)

PA32

女性アスリートの三主徴の検証—食行動異常傾
向, 無月経, 疲労骨折の関連性の検討—

煙山千尋 (岐阜聖徳学園大学)

尼崎光洋 (愛知大学)

10月2日(日)
ポスター発表B

10月2日(日) 10時30分～12時00分

会場：2F メインホール

P B 1

JISS が提供する映像システムの効果的利用に関する探索的研究—有効活用されなかった事例調査—

永尾雄一 (国立スポーツ科学センター)
福井邦宗 (日本福祉大学)

P B 2

大学生アスリートのフォーカシング的態度に関する特徴

飯田麻紗子 (日本体育大学)
高井秀明 (日本体育大学)

P B 3

東京 2020 大会延期にともなうトップ競泳選手のメンタルヘルスおよび東京 2020 大会に出場した選手と出場できなかった選手の心理的差異

草薙健太 (中京大学)
佐藤大典 (大阪体育大学・非会員)
荒井弘和 (法政大学)

P B 4

日本語版 Coping Inventory for Competitive Sports の作成

相川 聖 (関西学院大学)
高井秀明 (日本体育大学)

P B 5

ストレス対処力 SOC が合宿中における気分の変化に与える影響

園部 豊 (帝京平成大学)
泉 敏郎 (帝京平成大学・非会員)

P B 6

注意の焦点づけが遠投運動における手首の角度に与える影響

大木雄太 (清和大学)
國部雅大 (筑波大学)

P B 7

スポーツ版実行機能質問紙 (Executive Functions Questionnaire for Sports: Sports-EFQ) の信頼性および妥当性の再検討

浦 佑大 (日本体育大学)
高井秀明 (日本体育大学)

10月2日(日)
ポスター発表B

10月2日(日) 10時30分～12時00分

会場：2F メインホール

P B 8

女性アスリートの健康的な食行動を阻害する要因
—自叙伝を用いた分析—

山中 恕 (大阪体育大学大学院)
土屋裕睦 (大阪体育大学)

P B 9

プロボクサーの減量が心理面に及ぼす影響の検討

小林玄樹 (京都工芸繊維大学大学院)
来田宣幸 (京都工芸繊維大学)

P B 10

野球における投球・送球イップスの評価方法の
検討

松田晃二郎 (熊本学園大学)
田村雄志 (福岡大学・非会員)
相羽枝莉子 (長崎国際大学)

P B 11

大学生アスリートにおける日常・競技におけるストレ
スの実態調査—住居環境に着目して—

飯塚 駿 (山梨学院大学)
豊田 隼 (山梨大学大学院)
若林頌太 (山梨大学・非会員)

P B 12

指導者と選手による「よい練習」の要因の検討

松橋一希 (北翔大学大学院)
畝中智志 (北翔大学)

P B 13

膝前十字靭帯損傷アスリートのパフォーマンスモニ
タリング機能

正木宏明 (早稲田大学)
木村志織 (早稲田大学大学院・非会員)

P B 14

大学生アメリカンフットボール選手のポジションによる
人柄類型・食行動と体格との関連—内田クレペリ
ン検査を用いた検討—

保井智香子 (立命館大学)
船越正康 (大阪教育大学名誉教授)

10月2日(日)
ポスター発表B

10月2日(日) 10時30分～12時00分

会場：2F メインホール

P B 1 5

テニス競技者におけるサブパフォーマンスに有効な感情調節方略の検討—感情調節方略の使用傾向に着目して—

相羽枝莉子 (長崎国際大学)
松田晃二郎 (熊本学園大学)
向 晃佑 (長崎国際大学)
杉山佳生 (九州大学)

P B 1 6

一時的なソーシャルサポートが照準運動課題遂行に及ぼす影響

畝中智志 (北翔大学)
鷺見優季 (KDDI エボルバ・非会員)

P B 1 7

軌道の変化過程から推定する速度変化に伴う情報処理量

村上宏樹 (中京大学大学院)
山田憲政 (中京大学)

P B 1 8

テニスのレシーブにおける視覚探索方略の特徴

丸尾祐矢 (東京女子体育大学)

P B 1 9

左手反復把握法がゴルフパフォーマンスに及ぼす影響

水野寛太 (早稲田大学大学院)
正木宏明 (早稲田大学)

P B 2 0

3D 複数対象追跡 (3D-MOT) トレーニングが、プロサッカー選手の脳波に及ぼす影響

斉藤嘉子 (九州工業大学大学院)
磯貝浩久 (九州産業大学)
澤田豊宏 (一般社団法人行動評価システム研究所・非会員)
夏目季代久 (九州工業大学大学院・非会員)

P B 2 1

ヘッドマウントディスプレイを用いたリアルタイム視覚フィードバックおよび観察学習が技能習得に与える影響—バスケットボールのドリブル動作を対象として—

阿南俊之介 (筑波大学大学院)
小嶋 岳 (筑波大学大学院)
國部雅大 (筑波大学)

10月2日(日)
ポスター発表B

10月2日(日) 10時30分～12時00分

会場：2F メインホール

P B 2 2

アスリート版認知的方略尺度作成に向けた予備的
検討

奥野真由 (久留米大学)
土屋裕睦 (大阪体育大学)

P B 2 3

ヒトの視覚における時間サンプリング周波数と移動
物体の将来位置推定との関連

樋口優満 (鹿屋体育大学大学院)
幾留沙智 (鹿屋体育大学)
亀井誠生 (前・鹿屋体育大学／現・農
業・食品産業技術総合研
究機構)
水崎佑毅 (鹿屋体育大学大学院／
周南公立大学)
中本浩揮 (鹿屋体育大学)

P B 2 4

Health Action Process Approachに基づく女性
アスリートの異常食行動の検討—女性アスリートの
三主徴の自覚症状の有無による比較—

尼崎光洋 (愛知大学)
煙山千尋 (岐阜聖徳学園大学)

P B 2 5

スタッフ転向を経験した大学野球部生の諦めと意味
づけのプロセス

八斗啓悟 (筑波大学大学院)
勝田美緒 (株式会社メフォス・非会員)
菅原大地 (筑波大学・非会員)

P B 2 6

曲走路の疾走パフォーマンスの低下の個人差と視線
行動の関連

引野隆輔 (鹿屋体育大学大学院)
水崎佑毅 (周南公立大学)
幾留沙智 (鹿屋体育大学)
森 司朗 (鹿屋体育大学)
中本浩揮 (鹿屋体育大学)

10月2日(日)
ポスター発表B

10月2日(日) 10時30分～12時00分

会場：2F メインホール

P B 2 7

箱根駅伝選手の退部率とメンタルヘルスの実態

上迫彬岳 (筑波大学大学院)

雨宮 怜 (筑波大学)

弘山 勉 (筑波大学・非会員)

坂入洋右 (筑波大学)

P B 2 8

誕生月が運動・スポーツ活動の参加や意識に及ぼす影響

田島 誠 (川崎医療福祉大学)

門利知美 (川崎医療福祉大学)

堀家弥姫 (川崎医療福祉大学大学院)

P B 2 9

車いすテニス選手はアントラージュからどのようなソーシャルサポートを得ているのか—ネットワークマップを用いた質的研究—

船江美香 (大阪体育大学大学院)

土屋裕睦 (大阪体育大学)

P B 3 0

アサーションスキルがスポーツにおける攻撃性に与える影響—大学生アスリートを対象とした質問紙調査—

加藤 憲 (大阪体育大学大学院)

土屋裕睦 (大阪体育大学)

P B 3 1

試行間の Quiet Eye 時間の安定性とパフォーマンス精度の関係

水崎佑毅 (鹿屋体育大学大学院／周南公立大学)

亀井誠生 (前・鹿屋体育大学／現・農業・食品産業技術総合研究機構)

幾留沙智 (鹿屋体育大学)

森 司朗 (鹿屋体育大学)

中本浩揮 (鹿屋体育大学)

